



## ■ 決算のポイント

- ✓ 純利益**20億7,071万円**、前年度比約**13億円増**
- ✓ 処理水量 = **過去最高**、前年度比**3,856万立方メートル**、**6.0%増**  
関係市町の維持管理負担金：前年度比約**12億円増**
- ✓ 高利率の企業債の償還が進み、**企業債利息**が前年度比約**1.8億円減**

### 損益の状況 (消費税及び地方消費税を除く)

■ 収益	<b>498億2,596万円</b>	(対前年度比 +22億3,734万円)
■ 費用	<b>477億5,525万円</b>	(対前年度比 +8億8,938万円)
■ 純利益	<b>20億7,071万円</b>	(対前年度比 +13億4,796万円)

- ✓ 収益の主なもの：維持管理負担金、一般会計繰入金等
- ✓ 費用の主なもの：汚水処理や維持管理の経費、減価償却費等

### 資本的収支の状況 (消費税及び地方消費税を含む)

■ 収入	<b>233億 802万円</b>	(対前年度比 ▲14億4,418万円)
■ 支出	<b>280億 9,994万円</b>	(対前年度比 ▲22億 702万円)
■ 収支差	<b>▲47億 9,192万円</b>	(対前年度比 +7億6,284万円)

- ✓ 収入の主なもの：国庫補助金、建設負担金、企業債等
  - ✓ 支出の主なもの：施設の建設改良の経費、企業債の元金償還 (79億円) 等
- ※ 収支差のマイナスは損益勘定留保資金等で補填

## ■ 業績ハイライト

**業務量 6億8,588万立方メートル**  
(1日平均：50mプールで約750杯分に相当)

- ・ 約549万人の家庭排水 (BOD:110~240mg/L) 等を良好な水質にして河川へ放流 (BOD:2.5mg/Lで放流 アユが棲める水質BOD:3mg/L)

### 維持管理 (税抜。減価償却費等を除く。)

**汚水処理等経費：約223億円** 財源 市町負担金223億円

- ・ 約2割を占める**電気料**が前年度比約**0.8億円減少**
- ・ 老朽化が著しい施設の**修繕**を約**73億円**実施
- ・ 下水汚泥を有効活用する**バイオガス発電**を開始 (ガス売却益約0.7億円)

### 設備投資 (税込。翌年度繰越を除く。)

**建設改良費：約202億円** 財源 国庫補助金104億円  
市町負担金 49億円  
県企業債 49億円

- ・ 老朽化した機械電気設備の**改築**等に約**119億円**
- ・ 耐震基準に適合しない施設の**耐震化**等に約**22億円**
- ・ バイオガスを抽出する**下水汚泥の消化タンク建設**等に約**40億円**
- ・ チッ素とリンの除去率を高める**段階的**高度処理の導入等に約**5億円**

**引き続き、24時間365日、  
絶え間なく下水道サービスを県民に提供**



## 財務ハイライト

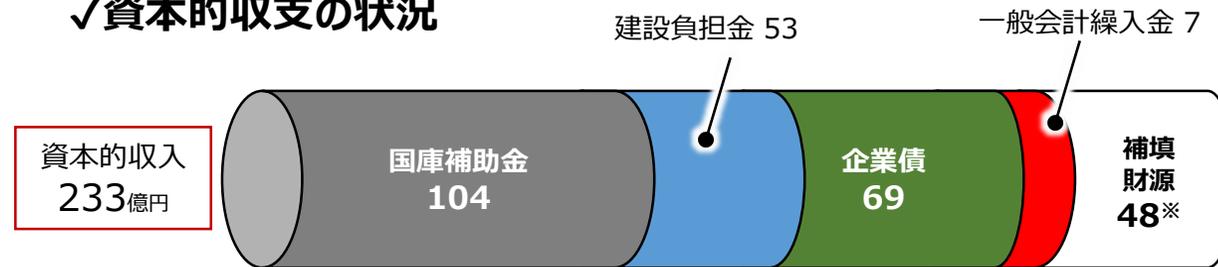
### ✓収益的収支の状況



消費税及び地方消費税を含まない



### ✓資本的収支の状況



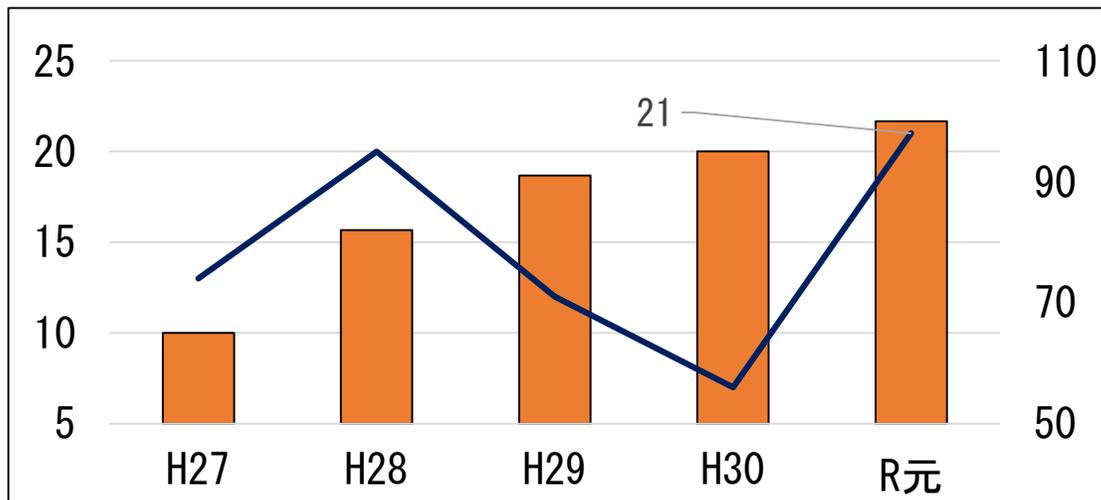
消費税及び地方消費税を含む



※ 資本的収入が不足する分は損益勘定留保資金等で補填

### ✓損益の推移

(億円 折線：純利益・左目盛 棒：未処分利益・右目盛)



### ✓企業債残高の推移

(億円)

